

日暮里の繊維街で買い物



ショルダーバッグを作りたいと皮生地を日暮里まで買いに行った。日暮里駅前には、始めて知ったが江戸城を造った太田道灌の像があった。日暮里の道灌像はここを戦いで治めた事で建立、川越の道灌像は川越城築造記念、都庁の道灌像は江戸城築城の記念だそうだ。山吹の里は、新宿区山吹町と越生、相模で本家を争っている。道灌山は、道閑という人と道灌が争っている。

繊維街はたしかにたくさんの生地屋があった。皮生地は五件くらいあったが、チェーン店のD-west And ShoesとHappyで合計三枚の皮生地を買った。店員に聞いたのだが、浅草橋の方が店舗はいっぱいあると言う事なので、今度は浅草橋に行ってみる事にする。

ここまで来て勿体ないので、昼食の後、谷根千散策をする事にした。



大阪の天王寺と関係あるのかと思うが全くないようだ。もともと日蓮宗だったのだが、いろいろあって天台宗に改宗したようだ。



大名時計から出たところに、案内にもあるねこねこ家があった。猫に注意とあったが、食べ物屋らしいのだが気持ちが悪かった。

大名時計博物館

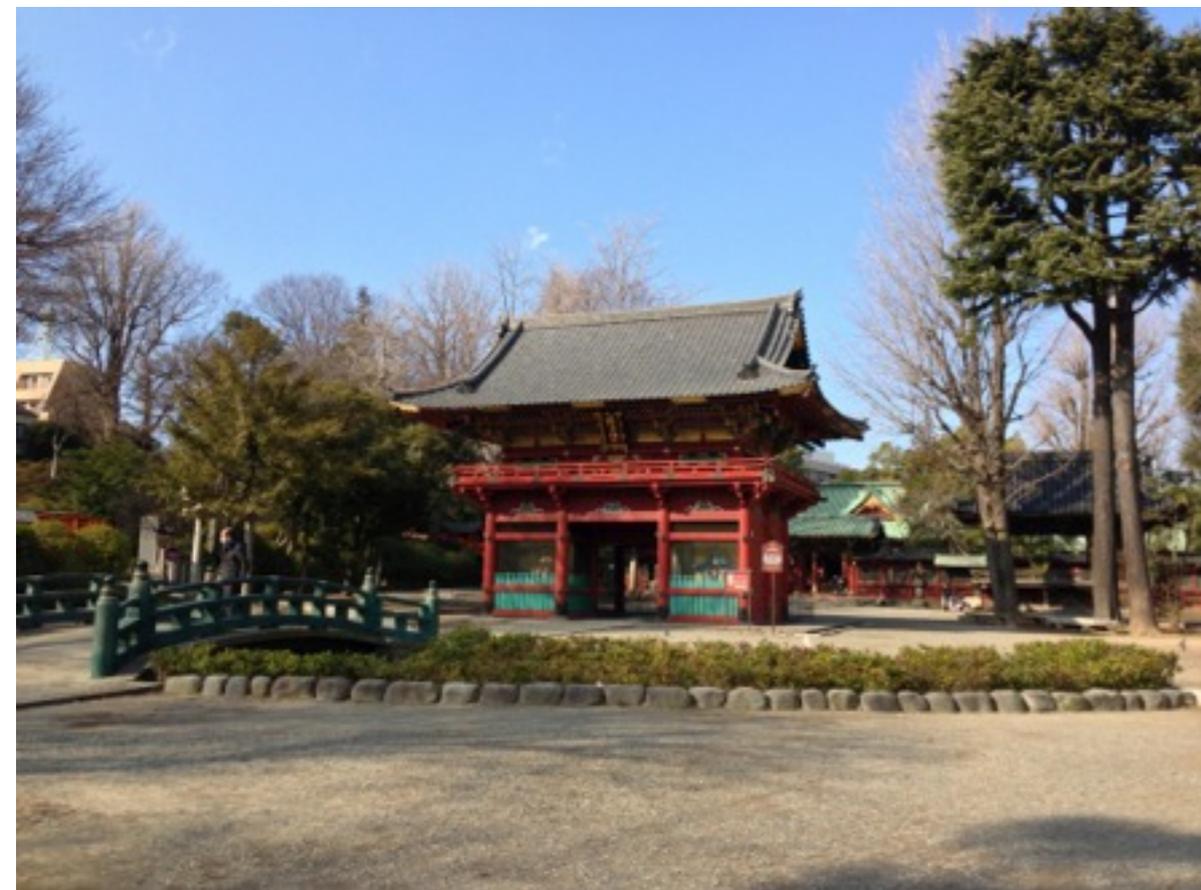


がっかりした代表は、観光名所で和時計が50個ある大名時計博物館とあったので行って見た。入口は化け物屋敷みたいで、こわごわ入ると右側にはゴミの山であった。家も朽ち果てている感じで、臆病な私は出てきてしまった。

江戸時代に建立され大きな
神社として有名らしい。

根 津 神 社

京都の伏見稻荷大社より小ぶりで短い赤鳥居。
思わず京都を連想した。





行く前に谷根千の観光マップや観光名所をipadminiに入れた。そこにはおばけ階段、夏目漱石、宮本百合子の住居跡が家のイラストもあったので楽しみにしていたが騙された。

おばけ階段は、上りと下りの段数が違うと言う事だが、一番下の段が2cmくらいしかないのが影響しているらしい。やっと探し当てたのに、面白くもない階段であった。

夏目漱石は石碑と左に見える猫があるだけだった。

宮本百合子は、門柱が残っているだけだった。私は宮本百合子が好きで、有名な本は漁って読んだ時代もあった。特に何回も読み返したのは短編だが「貧しき人々の群れ」で、現代でも通用する考え方である。

宮本百合子のすぐ隣に、写真右上に高村光太郎と知恵子の家もあった。





下町は小路が多く、狭い路地に植物という、そんなイメージがたっぷりあった。東京のど真ん中に癒しを感じた。また、谷中銀座は3時ごろなのに人で賑わっていた。わたしも4時間近く歩き疲れたので、谷中銀座で150円のたい焼きを右手に歩いた。東京のど真ん中に祠があり思わずパチリ。